

東京ニューシティ管弦楽団

第116回定期演奏会

TOKYO NEW CITY ORCHESTRA

ドビュッシー：
牧神の午後への前奏曲

C. Debussy : Prelude to the afternoon of a Faun

指揮

秋山和慶

Conductor : KAZUYOSHI AKIYAMA

ラヴェル：

ピアノ協奏曲 ト長調

M. Ravel : Piano Concerto in G-major

チャイコフスキー：

交響曲第1番 ト短調 作品13

「冬の日の幻想」

*P. Tchaikovsky : Symphony No. 1 in G-minor, Op. 13
"Winter Daydreams"*

2018年

1 | 27

[土曜日] 14:00 開演 (13:00 開場)

東京芸術劇場 コンサートホール

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩5分 駅地下通路2b出口と直結しています

料金 (全席指定) S席:6,500円/A席:5,000円/B席:3,500円/C席:2,500円

学生半額(25歳以下、S席除く) シニア券:1,100円(保護者同伴、S席除く) シニア割引:10%引き(60歳以上)
※上記割引については事務局までお問い合わせ下さい。 ※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。
※やむを得ず、出演者・演目が変更になる場合がございます。ご了承ください。

お申込み・お問い合わせ

東京ニューシティ管弦楽団 (土・日・祝を除く10時から18時)

● チケットデスク: 03-5933-3266 ● Web予約 <http://tnco.or.jp> (24時間対応)

● チケットぴあ (pコード323-882): TEL.0570-02-9999 <http://pia.jp/t/>

● 東京芸術劇場ボックスオフィス: TEL.0570-010-296 (ナビダイヤル)

● イープラス: <http://eplus.jp/> (パソコン&携帯)



秋山和慶 (指揮者)

Kazuyoshi Akiyama, *Conductor*

1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース響音楽監督を歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、スイス・ロマン管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

1991年東京響創立45周年記念ワールドツアーでは全公演を指揮して大成功をおさめ、1994年には同団第400回定期演奏会を記念したシェーンベルクの歌劇「モーゼとアロン」(演奏会形式)を指揮、各紙から絶賛を博し同年音楽界最大の話題となった。また同公演のCDは各レコード誌より国内外で高く評価された。ふたたび1996年東京響創立50周年記念ヨーロッパ公演を指揮して同公演を成功に導き、2001年には同団創立55周年トルコ・イタリア公演を指揮し各地で好評を博した。1997年にシェーンベルク:ヤコブの梯子、ヤナーチェクの歌劇「利口な女狐の物語」(舞台上演形式)、2000年ラッペンマン:歌劇「マッチ売りの少女」(演奏会形式・日本初演)、ヤナーチェク:歌劇「カーチャ・カヴァノヴァー」(原語による日本初演)、2003年にはジョン・アダムズ:「エル・ニーニョ」(日本初演)を取り上げるなど常に新たな挑戦を続けている。

これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モービル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者を務めるほか、洗足学園音楽大学教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



© 武藤章

花房晴美(ピアノ)

Harumi Hanafusa, *Piano*

“巨匠ピアニスト名鑑のHの項に、クララ・ハスキル、ウラディーミル・ホロヴィッツに並んで、いずれ花房晴美の名が刻まれるであろう。”—ハイファイステレオ誌

華麗な演奏が魅力の、日本を代表するピアニストの一人。国内はもとより、海外のオーケストラとの共演を重ねるなど、国際的にも高く評価されている。

桐朋学園高校を首席で卒業後、フランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立音楽院でピアノをピエール・サンカン氏に、室内楽をジャン・ユポー氏に学ぶ。エリーザベト王妃国際コンクール他、数々の国際コンクールに入賞。国内でのリサイタルの他、NHK交響楽団をはじめとする日本の主要オーケストラとの共演も数多い。近年ではカンヌ音楽祭に参加し、「技術に裏付けられた、輝かしい演奏」と絶賛された。CDも数多くリリース、好評を得ている。最新CDは日本アコースティックレコードより「フランス・ピアノ作品集～花房晴美ライブ・シリーズⅡ」があり、レコード芸術で特選盤に選ばれる。

2007年は、日本デビュー30周年にあたり、秋には集大成と言うべきリサイタルを東京・紀尾井ホールで二夜にわたって行った。2011年1月にはニューヨークカーネギー・ホールでニューヨークデビュー公演を行い、11月には「SOIRÉE ANNIVERSAIRE Franz LISZT et Georges CZIFRA」(記念夜会)に出演。ソロの他、フィリップ・ジュジアーノやイヴ・アンリ、ジャン・フィリップ・コラールらと共演し、いずれも好評を博す。2013年3月にはマイケル・シンメル芸術センター(ニューヨーク)にて、「西村朗:ピアノ協奏曲<シャーマン>」をアメリカで初演し、大きな話題を呼んだ。

2010年からシリーズ・パリ音楽のアトリエを東京文化会館でスタートさせ今日まで第13回続いており、第14回は2018年4月20日(金)に予定している。



東京ニューシティ管弦楽団

Tokyo New City Orchestra

1990年設立。定期演奏会、オペラ、バレエ、レコーディングなど幅広く活躍している。定期演奏会では、最新の音楽的な研究成果をいち早く取り入れたプログラミングなど、その斬新かつ意欲的な内容は話題を呼んでいる。また、スティング、バート・バカラック、さだまさし、水樹奈々など、ポップスのアーティストとも数多く共演している。

(公社)日本オーケストラ連盟正会員。

お申込み・お問い合わせ

東京ニューシティ管弦楽団

(土・日・祝を除く10時から18時)

● チケットデスク: 03-5933-3266

● Web予約 <http://tnco.or.jp> (24時間対応)

● チケットぴあ(pコード323-882): TEL.0570-02-9999 <http://pia.jp/t/>

● 東京芸術劇場ボックスオフィス: TEL.0570-010-296(ナビダイヤル)

● イープラス: <http://eplus.jp/>(パソコン&ケータイ)